



広報



市の木もくせい

FUSSA



平成20年(2008年)

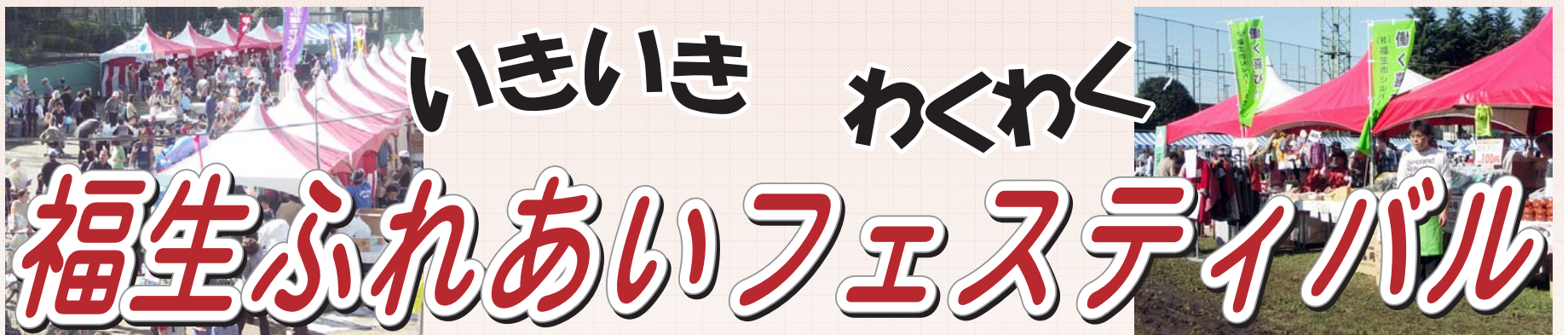
10月1日 No. 768

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面子ども議会を開催します 3面国際フェア・商店街まつり 4面町会・自治会に加入しましょう
5面消費者講座「高齢者の消費生活トラブル」 6面第38回福生市民文化祭 8面市営住宅入居登録者を募集します



第18回産業祭

◆一般商品・青果物などの即売コーナー

◆飲食コーナー

◆ごみ減量とリサイクル展

◆キャラクターショー

『ヤッターマン』

①午前11時～11時30分②午後1時30分～2時(予定)

◆ピエロショー

①正午～午後0時30分②午後2時30分～3時(予定)

◆ミニ遊園地

キャッスルウェーブスライダー(すべり台)、ふわふわちびまる子ちゃんだいうんどうかい(ふわふわ)、ミニSL

◆その他

マイカー点検教室、相談コーナー、親子で楽しめる体験コーナー等

※内容が一部変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



☎551・1950

【第38回福生市民文化祭】
社会教育課社会教育係

☎551・2927

【第18回産業祭】
商工会 ☎551・2927

【第19回ふっさ健康まつり】
保健センター ☎552・0061

【第19回ふっさ健康まつり】
保健センター ☎552・0061

【第19回ふっさ健康まつり】
保健センター ☎552・0061

問合せ

ださい。

※車でのご来場はご遠慮ください。

場所市営福生野球場

午後4時(小雨決行)

日時10月26日(日)午前10時

健康増進を一緒に考える

「第19回ふっさ健康まつり」、

市内の産業の生産向上と経済

振興を目的とした「第18回産

業祭」、市民の文化活動の発表

の場である「第38回福生市民

文化祭」を合同で行なう「福生

ふれあいフェスティバル」は、

今年も盛りだくさんの内容で

皆さんのご来場をお待ちして

います。

第19回ふっさ健康まつり

私の健康、あなたの健康、みんなの健康を楽しく考えましょう。

◆専門相談コーナー

赤ちゃんからお年寄りまでの健康、育児、お口の健康、くすりからペットまで、専門スタッフによる相談が気軽に受けられます。

◆体験コーナー

初期消火体験、応急救護体験(AED等)、妊婦体験ジャケット、手作りオモチャ、体脂肪測定、閉眼片足立ち、動物クイズ、凧づくり、アイマスク体験など、健康から趣味まで、普段できない体験などあなたの暮らしに役立つことが必ずあります。

◆情報・展示コーナー

作品展示、各種調理器具、防犯情報、ミニ消防服、子育て支援、福祉車両など日頃の地域活動や、知って得する情報などを教えます。



家族の写真大募集!

家族の広場コーナーでは、生まれた赤ちゃんのご家族が初めて撮った写真を展示するため、皆さんからの写真を募集しています。

L版写真一枚(裏に名前と連絡先を記入・返却不可)を10月15日(水)までに保健センター(〒197-0011福生市福生2125番地3)へ郵送もしくはご持参ください。



全力投球

福生市長 加藤育男



福生市総合防災訓練にて

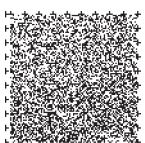
生きる

千二百年前の中国の詩人杜甫は、曲江二首の中で「人生七十古來稀(じんせいしちじゅうこうらいまれなり)」と書き残しています。

現在の我が国では、総人口の1割が75歳以上となり、長寿社会を迎えています。福生市内にも、百歳を超えるお年寄りが14名いらっしゃいます。敬老大会の折に、その内の10名の方々とお会いする機会に恵まれました。

現在東京都の自殺総合対策会議の委員として、近年増加している自殺者(年間約3万人)の防止を目的として、他の委員と「生と死」をテーマに意見交換をしておりますが、10名のお年寄りの方々から簡潔な答え「生きる」をいただいた思いがしました。皆さん本当にお元気で、私の方が勇気づけられる程でした。

この10名のご長寿の方々とお会いできて、人の暮らしの中で、生きていくということそのものがどれだけ素晴らしい意味があり、朝夕に元気な顔を見ることが、周囲で見守る人たちに限らない影響を与えられるのだと実感させていただきました。



携帯電話で市政情報を提供 サービスメニュー→行政→「テレモ自治体情報・マイタウン福生市」